

1. 科目名 (単位数)	言語学概論 (2 単位)	3. 科目番号	EJJP3141
2. 授業担当教員	山口 雅代		
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	言語には日本語も英語もあるが、どの言語にも共通したなんらかの性質がある。この講座は言語体系、言語能力、言語運用などといった言語学の分野でよく使われる用語を紹介したうえで、音、単語、文、意味、文化について考察を進め、ことばの普遍性と多様性を学習していく。		
8. 学習目標	1.どの言語にも応用できる言語学の基礎知識について説明できるようになる。 2.言語学の基礎知識を日本語(や母国語)に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになる。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	1. 毎回授業の始めに与えられた課題の発表で、内容導入を行う。 2. 毎回授業の終わりにワークシートを利用し、学習内容を確認する。 3. 言語の研究分野について何を知りたいか、テーマを考え分析し発表する。 4. 発表後に個別にレポートを作成し提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】使用せず、適宜プリントを配布する。 【参考書】黒田龍之助『はじめての言語学』講談社現代新書、2004。 小泉保『日本語教師のための言語学入門』大修館書店、1993。 佐久間淳一『本当にわかる言語学』日本実業出版社、2016。 原沢伊都夫『日本語教師のための入門言語学—演習と解説』、2017。 町田健・榎山洋介『よくわかる言語学入門』バベルプレス、1995。 など。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1) 言語学の基礎知識について説明できるようになったか。 2) 言語学の基礎知識を日本語(と母国語)に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 試験(小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の30% 3 提出課題(レポート等) 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	言語学という学問は、何をやっているのかわかりにくい学問かもしれない。この授業では、言語学はといった言語の何を研究しているかという言語学の基礎知識を学ぶことと、専門知識を日本語や母語に応用することに力を入れる。応用することによって、言語学の醍醐味が分かるので、ぜひ楽しく勉強していきたい。		
13. オフィスアワー	第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション(授業概要の説明、自己紹介) 言語学(言語・日本語)について考える	事前学習	言語学とは何かについて考えておく。
		事後学習	配布資料(「1 言語とは何か」)を読み言語学とは何か理解する。
第2回	1 言語とは何か ①言語の定義 ②意味を伝達する単位	事前学習	配布資料(1 言語とは何か①言語の定義、②意味を伝達する単位)を読み言語の伝達する意味について考える。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第3回	2 言語記号 ①記号 ②言語記号 ③言語記号の恣意性	事前学習	配布資料(2 言語記号①記号 ②言語記号③言語記号の恣意性)を読みソシュールのいう言語記号について理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第4回	3 分節 ①文の単位への分節	事前学習	配布資料(3 分節①文の単位への分節)を読み分節とは何か理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第5回	3 分節 ②二重分節	事前学習	配布資料(②二重分節)を読み二重分節とは何か理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第6回	4 ラングとパロール ①ラングとパロール ②ラングの特徴	事前学習	配布資料(ラングとパロール ①ラングとパロール ②ラングの特徴)を読みラングとパロールの意味を理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第7回	5 構造 ①言語の線状性と要素の配列の規則性	事前学習	配布資料(5 構造 ①言語の線状性と要素の配列の規則性)を読み言語の特徴である線状性について理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。

第8回	5 構造 ②構造	事前学習	配布資料(②構造)を読み言語の構造の機能分類と品詞分類の違いについて理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第9回	6 体系 ①体系 ②個別言語の体系	事前学習	配布資料(6 体系 ①体系 ②個別言語の体系)を読み言語にどのような体系があるのか理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第10回	7 共時態と通時態 ①共時態と通時態	事前学習	配布資料(7 共時態と通時態①共時態と通時態)を読みどのような言語学が共時態であり通時態であるのか理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第11回	7 共時態と通時態 ②言語研究の対象	事前学習	配布資料(②言語研究の対象)を読み言語学の対象が何か理解する。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第12回	8 言語研究の方法と言語学の分野	事前学習	配布資料(8 言語研究の方法と言語学の分野)を読み言語学にはどのような研究分野があるのか理解する。
		事後学習	ワークシートに記入し、言語学のどの分野に興味があるか、課題を決める。
第13回	言語学について発表とディスカッション	事前学習	発表原稿を作成する。
		事後学習	原稿を見直し、質疑応答、コメントについて考える。
第14回	最終レポート提出準備	事前学習	発表、質疑応答、コメントを参考にレポートにまとめる。
		事後学習	提出するレポートを読む。
第15回	レポートについての評価・フィードバック	事前学習	それぞれのレポートについて意見交換を行う。
		事後学習	レポートの評価について考える。